

食と農とむらを考える情報誌

# ふるさと夢とやま

No.35

ふるさとウォッチング

小矢部市南谷地区  
朝日町宮崎・笹川地区



2015年3月14日  
北陸新幹線開業

ハートが乾いたら、農に帰ろう。『とやま帰農塾』

中山間地域チャレンジ支援事業

立野原台地で「エルハート城端」奮闘中!

農家レストランで素敵な時間を。

カモ親子の農村日記

白岩川が潤す上条郷 上条頭首工(上市町)

トピックス

富山県の耕作放棄地対策

「とやまの農山村写真展」・

「水の事故・ゴミ捨て防止標語、ポスター」受賞作品



毎年秋の収穫後には、旧岩尾滝小学校の敷地内にて、南谷地区振興会主催の「よだけ(岩尾滝)の山まつり」を開催しています。昨年は地場産野菜の販売のほか、地元食材を使った豚汁、しそなども販売しました。

このほか、高岡市内の小学生を招いてリンゴの収穫や炭焼き体験学習を行ったり、スポーツ少年団の合宿を受

### 住民参加型のイベントで交流を

平成20年3月、地区内にあった岩尾滝小学校が廃校になったことから、住民の間で「このままではいけない。みんなで何かできることはないか」という声が上がりました。これらの声が「山の店」と「南谷地区振興会」の連携につながりました。「山の店」が各種活動の企画運営を担当し、「南谷地区振興会」が地区住民に協力の働きかけを行いながら、様々な取り組みを開始することになりました。

### 小学校の廃校が 集落活性化の転機に

けられたりと、元気な子どもたちの笑顔を見る機会も増えてきました。合宿にはもちろん、地元野菜を使った食事を提供しています。

今後も棚田地域の農地の保全と地域のイベントをリンクさせながら、南谷地区の活性化を進めていきます。



交流収穫祭「よだけの山まつり」



地元野菜を調理して  
スポーツ少年団の合宿に提供

### 「山の店」と「南谷地区振興会」による連携・協力事業

#### 里山の整備・保全活動



遊歩道の整備



伐採した広葉樹をキノコのホダ木に

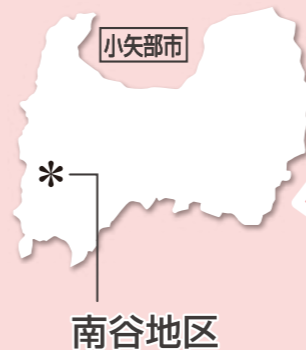
「山の店」では県や市の事業を活用し、遊歩道の整備や樹木の伐採整備にも取り組んでいます。伐採した樹木はキノコのホダ木として有効活用しています。

#### 耕作放棄地の再生事業



耕作放棄地の再生の様子

南谷地区の荒間集落では、平成25年度から棚田保全活動の一環として県事業を活用して耕作放棄地の再生に取り組んできました。再生した農地では山ウドやスクナカボチャを栽培。「山の店」で販売したり地区内のイベントでも振る舞いました。



南谷地区

富山県農村環境創造基金

# ふるさとウォッチング

FU.RU.SA.TO watching PART. 1



南谷地区荒間集落の棚田風景

## 直売所の運営、イベントの企画 地区住民みんなで地域を元気に！

小矢部市の南西に位置し、石川県に隣接している南谷地区。全域が「特定農山村地域」に指定されており、美しい棚田風景が広がっています。

約330戸、900人が暮らす小さな集落ですが、新鮮な野菜やキノコ、加工品などの直売所を運営するNPO法人「山の店」と「南谷地区振興会」が連携・協力し、地域の振興に取り組んでいます。

### 農産物の直売所に にぎわいを

NPO法人「山の店」の前身は任意団体「憩いの家」で、まちづくりの推進や環境の保全を目的として平成18年に発足。翌年の法人化を機に現在の名称になり、同名の農産物直売所を出店運営しています。

直売所の営業は月2回(毎月第2・4日曜)。店内には地元で穫れた新鮮な野菜や山菜、キノコなどのほか、これらを使った加工品も数多く並びます。

お客さんは市内だけでなく、県内他市やお隣の金沢市から訪れる方もあります。開店時刻の12時前から

並んで待つくださったり、2時間後の閉店を待たずして完売になることもあり、直売所の運営はもちろん、生産者にとっても大きな励みになります。



新鮮な地元野菜が  
並ぶ店内



多数の来客で賑わう直売所





漁師のお母さんと魚さばき体験

「実バラ」や「丸いも」など新たな農産物の特産化、獅子舞奉納の継承など、地域の活性化と生きがいを深める活動に積極的に取り組んでいる笹川地区。笑顔あふれる大家族のような暮らしは、「村一家」という言葉がぴったりです。特に近年はチェコスロバキア、スイスなど海外からの移住者が増え、神輿を先頭で担いだり、草刈り作業に参加するなど、まさに「家族の「員」として暮らしています。さらに全国を探して笹川地区と出会い、古民家を再生して暮らす若い子育て世

代も見られるようになりました。また、高齢化率47%に達する笹川地区ですが、「自分の健康は自分で守る」という意識が高く、小学生から高齢者まで毎日ノルディック・ウォークを楽しみ、今では愛好者の輪が朝日町全体に広がっています。今春には、県の定住・移住促進事業として古民家を改修した「移住交流体験宿泊施設」が完成予定で、笹川の豊かな暮らしを地域の皆さんと交流しながら体験できる拠点として、気軽に集える「ミニミニの場」としての活用も期待されます。

富山湾が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟、また北陸新幹線開業など、交流人口が増えるこの好機に、継承していきたい地域の宝ものを今一度見つめ直し磨きながら、新たな活動に積極的に取り組んでいる宮崎・笹川地区。他の地域や世代を超えた連携を深めながら、地域を継続していくための活性化事業に、これからも楽しみながら取り組んでいきます。

**持続可能な漁業を目指す宮崎地区**

江戸時代から400年もの伝統をもつ「越中式定置網漁」が、持続可能な漁法として世界的に注目されています。そこで、漁業・漁村の活性化と交流人口の拡大を目的に、平成26年11月、「定置網オーナー制度」がスタート。定置網漁で獲れたキトキトな海の恵みをお届けしています。これに先駆けて、10月には「おさかな大好き海の魅力発見ツアー」を開催。多くの参加者が定置網漁を通して魚食文

化を知り、豊かな森と海のつながりを感じ、交流を楽しみました。ツアーの様子は全国放送され、東京の小売店に魚を直送する取引も始まるなど、大きな反響がありました。漁業をとりまく状況は大変厳しいのですが、宮崎地区では、20代から30代の担い手が地球の大切な基幹産業である漁業を支え継続していくために、日々頑張っています。

**美しい自然に囲まれた住みたくなる里・笹川地区**



ノルディック・ウォーク体験会の開催



JR東日本タイアップ移住交流体験ツアー

**交流人口拡大の好機に向けて**

とやま都市農山漁村交流活性化支援事業

# ふるさとウォッチング

FU.RU.SA.TO watching PART.2



森と海がつながる宮崎漁港(写真:柳原 良平)

**自然豊かな海。美しい里山。パワフルな活動で注目の2地区**

美しいヒスイ海岸で知られる宮崎地区。そして、宮崎地区から国道8号を走ってトンネルを抜け、ホテルが乱舞する里山・笹川地区まで車で5分ほど。人と人がつながり、心豊かに暮らしながら、地域を元気にしようとパワフルに活動する2つの地区を紹介します。

**子どもたちの都市農村交流**

きつかけは平成18年、蛭谷地区で自然体験学校「夢創塾」の、猿投台中学校(愛知県豊田市)2年生の受け入れでした。この活動が大家庄地区・宮崎地区・笹川地区へと広がり、子どもたちの豊かな感性を育む温かな交流が長年続いています。この結果、朝日町全体で体験交流による地域活性化への機運が高まり、平成23年6月に地域と民間団体、行政が一体となって「あさひふるさと体験推進協議会」を設立。海から山まで、町全体が一体的に連携した交流事業に取り組んでいます。



清流の笹川でのいきもの調べ



刺し網漁の網外し体験

# ハートが乾いたら、農に帰ろう。 とやま帰農塾

田舎に泊まって「農のある暮らし」が体験できる『とやま帰農塾』が、平成26年度も県内8市町にて12講座開講しました。その体験活動の一部をご紹介します。



09月23日から24日

## 五箇山塾／南砺市

世界遺産五箇山で  
伝承の暮らしと  
民話の世界を堪能



茅場の下草刈り作業は、五箇山文化の伝承に深く関わる貴重な体験の一つです。まさに五箇山塾の真骨頂。合掌造りの屋根の材料になる「茅」が生産される「茅場」の下草刈りには、たいへん重要な意味があります。下草を刈って太陽の光をより多く茅に届けさせることで、茅が長く良質なものになり、合掌造りの屋根の耐用年数がより長くなります。険しい山道を進み、到着した茅場は傾斜35度の急斜面。足場の悪い茅場での作



ことが出来ます。

09月26日から28日

## 灘浦塾／氷見市

氷見といえば日本海！  
海釣りに魚さばき…  
富山の海の生活を満喫

釣りやカヤックなど海の体験が満載の灘浦塾。メインは漁船に乗って沖で釣りを楽しむ船釣り体験です。目の前に広がる水平線をボーっと眺めながら釣糸を垂らしていると、時々海鳥が頭上を舞って…、のどかな海で忙しい日常が忘れられます。船上で魚を釣り上げた時の参加者



の表情は、子どもに戻ったみたいが無邪気でキラキラしていました。また、氷見といえば海のイメージが強いですが、一方で里山としての側面も持っています。灘浦地区で栽培されている「灘浦みかん」は、近年地元の人々が力を入れて取り組んでいる特産物です。そんな地元の人のお手伝いをしようと、氷見の海が一望できる高台のみかん畑で下草刈りも体験しました。海と里山の体験が一度にできる灘浦塾、富山の豊かさがギョギョと話まわります。



09月20日から22日

## 松倉塾／魚津市

収穫期を迎え  
黄金色に輝く稲穂に「うっとり  
美しい里山で農業三昧

絶好の秋晴れの空の下、「稲刈り＆八サ掛け体験」がスタート。収穫期を迎えた稲を手鎌で刈り取り、その稲をワフで束ねていきます。この時、稲の根元部分にワフをクルッと巻き付けるのですが、この束ねる作



10月11日から13日

## 大長谷塾／富山市

秘境「大長谷」で循環型農業の  
営みや大自然の恵みをいただく  
贅沢な体験を満喫

12講座の中でも自給自足的な趣が強い大長谷塾。中でも特筆すべきは今村農園での体験です。長年、無農薬・有機農業に取り組んでいる今



村農園では、循環農法の実践と深く関わる形で養鶏も行っています。今回はこの鶏を自分たちでさばき、その命を大切にいただきました。実践してみても改めたいこと、それは、命をいただくことはとても重たいこと、ということです。「食べる」という当たり前のことが、とても深くて尊いことであつたと実感する貴重な機会となりました。ほかに、キノコや無農薬野菜の収穫などを体験し、豊かな自然に恵まれた大長谷の素晴らしい景色を十分に堪能できた濃厚な3日間でした。また、大長谷ファンらで構成される「ながたん農援隊」の活動が平成26年に内閣官房長官及び農林水産省の「ディスプレイ農山漁村(むら)の宝」に選ばれるなど、積



極的な取り組みを続けている地域であり、自給自足的農業を体験してみたい方にはぜひお勧めです。



## 地域や近隣の農家等との交流

### ●「立野原の夕市」(毎年8月初旬)



農場で栽培したメロンやカボチャ、地元農家が栽培したナスやトマト、スイカなどの夏野菜を販売。農家同士で出来栄を自慢し合ったり、エルハート城端の取り組みを理解していただく賑わいの場となっています。

### ●総合支援学校の農場体験教室



障がいのある生徒さんたちを招き、サトイモの収穫やタマネギの皮むきなどの農作業を体験してもらいました。

### ●収穫祭



周辺農家や野菜栽培協力者、施設利用者の家族を招待して収穫祭を開催。栽培した野菜を使った鍋料理やサトイモの田楽などを楽しみました。



柿の木の手入れ

昭和40年代から米の減反政策が始まり、京塚・南原地区では多くの水田が柿園に転換されました。しかし、近年では後継者不足などで放棄され始めているため、柿園の再生にも取り組んでいます。

また、平成25年には再生した柿園で収穫した「平田種なし柿(おけさ柿)」の渋みを二酸化炭素で抜き、薄くスライスした後、乾燥させて「柿チップス」を試作しました。この試作品を販売したところ大変好評で、平成26年から本格的に製造を開始しています。

## 柿園の再生と商品化

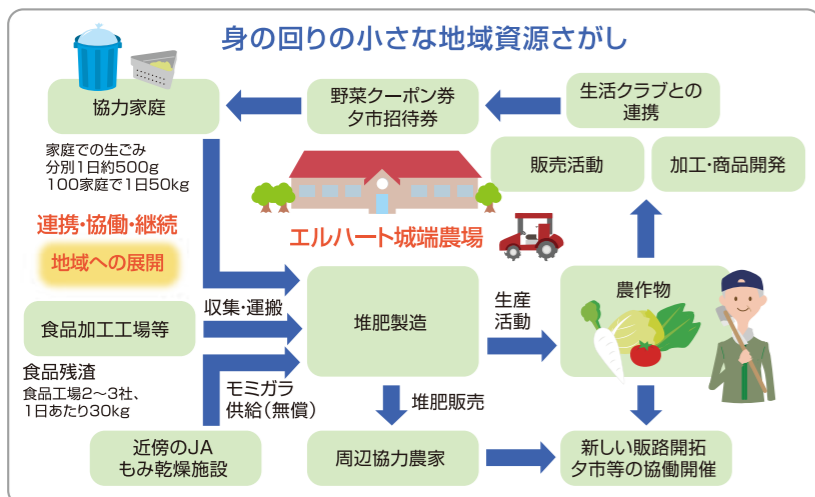


柿の収穫作業



柿チップス

### エルハート農場の取組み



平成27年2月には菓子工房を開所し、地元農産品を使ったスイーツの販売も始めました。

南原市は干柿の産地であることから、干柿生産時に副産物として得られた柿の皮を乾燥させて漬物用に加工したり、粉末化して肥育豚の

## 循環型農業への取組みを目指して

発育促進や厚脂抑制のための飼料として養豚農家へ供給しています。

また、家庭生ごみやモミガラなどを使った堆肥作りも始めました。平成26年はこの堆肥を施用し、1.3haの畑でたくさんの野菜を栽培しました。今後はさらに堆肥を多く生産し、施用率を高めるなど、「身の丈に合った小さな循環の実践」を基本理念にしなが、野菜の有機栽培にも取り組んでいきます。

## 中山間地域 チャレンジ 支援事業

南砺市  
京塚・南原地区

# 立野原台地で 「エルハート城端」奮闘中!

社会福祉法人 手をつなぐとなみ野 ~南砺市京塚・南原地区~



農場の全景

平成25年から収穫祭を開催し、平成26年11月には産地初の「おけさ柿」の試作に成功し、柿の渋みを二酸化炭素で抜き、薄くスライスした後、乾燥させて「柿チップス」を試作しました。



戦前、日本陸軍の軍事演習地として使われていた立野原台地。戦後は国策として開拓団が組織され、原野を開墾して、現在の集落群ができました。

地区の人は畑の土を「かべどろ」と呼びます。粘質性の強い赤土で水はけが悪く、雨が降るとぬかるむため、農家にとっては扱いづらい土壌

## 京塚集落の歴史

南砺市の中央部に位置する立野原台地。高齢化や集落の過疎化が進む中、南砺市で就労支援や農場を運営する「社会福祉法人 手をつなぐとなみ野」の「エルハート城端」が、地元農家と連携して保全管理地を利用した野菜栽培に取り組んでいます。

平成25年度からは、「中山間地域チャレンジ支援事業」を活用し、障がい者の就労の場として野菜などの本格栽培や直売所を開設するなど、地域の活性化に積極的に取り組んでいます。

ですが、鉄分などのミネラルが多く、サツマイモなどの根菜類やスイカなどは甘みが強く育ちます。このため、ここで採れた野菜などは高値で取引され、農業が栄えた時代がありました。

しかし、昭和40年代の高度成長期には専業農家から兼業農家へと農業構造が変化し、さらに近年は農業者の高齢化による廃業の動きが加速し始めています。

## 地元農家と福祉施設の連携による野菜栽培

地域農業が変化する中、平成25年度に立野原京塚・南原地区の保全管理地80aを借り、「エルハート城端」の利用者とスタッフ、タマネギ、ニンジン、サトイモ、インゲンマメ、ダイコンなどの栽培を開始しま



サトイモ収穫作業



インゲンマメ収穫作業

した。収穫した野菜は、地元食品加工会社に出荷し、かき揚げや和食惣菜の材料に使われています。

借り受けた保全管理地は、長い間作付けが行われていなかったため土壌が痩せ、野菜の生育が不良で小ぶりだったため、土壌改良も併せて行いました。

# 農家レストランで 素敵な時間を。



今回は、6次産業化の取組みの一つとして、  
農家がこだわりの農産物で自ら消費者をもてなす  
「農家レストラン」を紹介します。

◎6次産業化とは

「地域資源」を有効活用し、農林漁業者(1次産業従事者)が、自ら加工(2次産業)や販売・サービス(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めることで、農山漁村地域の活性化や雇用の創出を目指すこと。



社長の森田一秋さんとご家族の皆さん

高岡市の(株)森田農園のトマトを  
ふんだんに使った料理やスイーツ  
を味わえるカフェ、「農園 kitchen  
moriy」が昨年5月にオープンし、  
にぎわっています。

**家族の夢が詰まった、  
農園カフェ**



**トマトリゾットランチ**

自家農園の米とトマトを使ったリゾット。前菜、ドリンク付き。

data

高岡市今泉2-2-25  
TEL.076-50662-1110  
営業時間/11時~18時  
(ランチは14時まで)  
定休日/水曜日、第3木曜日



**採れたてを古民家で  
楽しめる農園カフェ**

砺波市の農工房長者(株)が経営している「農園カフェ 農工房長者」が、古民家を改修して1月29日にリニューアルオープンしました。  
農工房長者では、農薬や化学肥料を使わない有機農業を実践しており、自家産の有機米コシヒカリを使った餅や団子、自家栽培の桃やブルーベリーを使ったフルーツパフェが目玉商品です。朝摘みの新鮮なフルーツをふんだんに使用したパフェはボリューム満点ですが、「女性客もペロリと食べられますよ」とのことです。  
以前は、スイーツなどの軽食が中心でしたが、



古民家ならではの落ち着きを感じられる店内



地場産食材を使用した**日替わりランチ**

有機栽培米のごはん、地場産食材を使用したおかず、有機大豆で作った自家製味噌使用のみそ汁。味噌は、麴の比率を高くてやさしい味わいになっています。

data

砺波市高波1050  
TEL.0763-3216862  
営業時間/11時~18時  
定休日/第4日曜日、第4月曜日

来客からの「ランチをやって欲しい」との声に応え、リニューアルオープンに併せて、ランチメニューの提供も始めました。有機栽培米のごはんと地元野菜を使ったおかず、有機栽培大豆の豆乳料理などが楽しめます。  
「うちの農産物を食べた人が長生きしてくれば」との思いから名付けた「農工房長者」。古民家ならではの落ち着いた雰囲気の中、ゆっくりと流れる時間に身をまかせてはいかがでしょうか。

園カフェを始めるという考えはなかった」と社長の森田一秋さん。トマトジュースの加工・販売に取り組み始めた矢先、長女と次女がそれぞれに料理、スイーツづくりの道に進んだことから、親子のやりたいうことが絡み合い、農園カフェのオープンにつながりました。「ちょっとお茶したいな」と思ったときに、気軽に立ち寄れる地域の憩いの場にしたかった。

一年を通して美味しいトマト料理が味わえる「農園 kitchen moriy」へ、ほっと息つきに訪れてみてはいかがでしょうか。



**食材の良さを生かした  
農家レストラン**

高岡市福岡町にある「フェルヴェール」では、親会社の(株)セイアグリーシステムズの健康卵や鶏肉を使い、昔ながらの製法にこだわって作った料理が味わえます。

セイアグリーシステムズでは、設立時より、「健康な卵は健康な鶏から生まれる」を信条に、エサには自然の原料のみを使用して飼育しています。こだわりの鶏から生まれた健康な卵そのものの味を楽しんでもらうため、調理する直前に卵を割って風味を落とさないようにするなど、手間を惜しまず素材の味を生かした料理を提供しています。



ジョージ王朝時代の貴族の館をモデルにした店舗

data

高岡市福岡町下老字775-2  
TEL.076664775-2  
営業時間/10時~21時  
定休日/毎週火曜日

しているチキンソーセージは、コクと旨みがあり、おすすめ。販売商品として人気のお菓子にも、食品添加物や保存料は一切使用していません。特に、卵の力だけでふんわりと膨らんだシフォンケーキや、卵の旨味を濃厚に感じられるプリンが絶品です。  
アイルランド貴族の館をモチーフにしたお洒落な店内で、こだわりの卵や鶏肉の旨みを味わうことのできる「フェルヴェール」。ぜひ一度訪れてみてください。



噛みごたえのある、スパイシーな味わいの**チキンソーセージ**



ふんわりとシルクのように柔かいシフォンケーキ  
**たまごシフォン**



自家産の**コシヒカリの団子**

定番のみたらし・あんこ・香ばしい醤油焼き・きなこなどに加え、フルーツあん、クリームチーズ、昆布等、他では味わえない長者オリジナル団子もあります。



写真左 **ももパフェ**  
桃をまるごと3個せいくに使用しています。

写真右 **ブルーベリーパフェ**  
器の底までぎっしりとブルーベリーが詰まっています。



先人たちの苦勞の結晶である土地改良施設を広く理解してもらうために、主に小学生を対象とした「施設見学会」を平成15年から毎年

### 次代へつなぐ

に完成しました。  
現在、用水は防火・生活用水など、地域に欠かせないものとなっており、その源となる頭首工や幹線水路の適切な維持管理に努めているところです。また、老朽化がすすむ頭首工や水路については、既存施設を活用しながら、基幹水利施設ストックマネジメント事業等で施設の長寿命化に取り組んでいます。

開催しています。併せて、田植えや稲刈り体験を通してお米の大切さを学んでもらう「田んぼの学校」環境学習である「田んぼの生きもの調べ」などにも積極的に関わり、大切な資産を若い世代に引き継ぐ努力をしています。  
また、土地改良区では、「次代へつなぐ」という明確なビジョンのもと、地域農業を守る担い手の育成にも力を注ぎ、「ほ場整備事業」を企画・立案しています。まだ計画段階ですが、北陸新幹線の車窓から、次代へつなぐ新しいほ場 美しい農村風景が見える日を夢めています。



### 上条郷の歴史をたどる

立山町と上市町との境にある大辻山を源とし、富山市水橋地区で富山湾へ注ぐ白岩川。右岸の上市町と富山市の347haの水田を潤しているのが、上条頭首工です。

上条郷では、古墳群や住居跡、生簀跡等のほか全国初となる厚板状双六盤など出土品も数多く、奈良時代には東大寺荘園があったともいわれています。

当時の白岩川は、河道を大きく蛇行していたので、緩やかな勾配を持ち、流量も年間を通じて豊富なことから、水運が発達。大正期までは河口から約12kmの上流まで、舟運便が運航していました。米や加工品等の農産物は、水橋港から「北前船」で全国各地へ運ばれ、帰り荷として海産物や肥料等が各地から集まり大変賑わったといわれています。

### 上条郷の用水事情

上条郷のかんがい排水は、白岩川からの取水と部上市町地域からの落水でした。干ばつ時には白岩川が減水するため水争いが絶えず、加賀藩では作地の相



施設見学会 (H20.7.8)  
上条頭首工を見学する子どもたち



上空からの写真

## 白岩川が潤す上条郷

# 上条頭首工 (上市町)

## カモ親子の農村日記

ふるさとを創る  
土地改良施設を水辺から眺めたお話



互交換、分水・分木の寸法等をその都度議定してきたとされています。1730年には四千石用水の取水と配水を公平に規定。上市町神田地内で水路を整備し、1736年から「上条用水」と称することとなりました。

### 上条郷の用排水路整備

明治34年(1901)、上条用水水利組合が設立され、7分水工・17用水の配水・維持管理など主要な役割を果たしてきました。

当時の白岩川からの取水方法は川床を掘り上げて石俵や蛇籠を積み、むしろ等で漏水を防ぐという方法だったため、大水時には流されてしまい、復旧に多くの労力を要しました。そこで昭和24年(1949)に白岩川を改修し、取水箇所を床止め横断コンクリート堰堤が築造されました。

昭和39年(1964)には「上条用水土地改良区」となり、昭和42年(1967)から「上条郷地区農産かんがい排水改良事業」に着工。懸案となっていた上条頭首工の整備、上条用水路・石割川排水路の改修が進められ、昭和48年(1973)

### 土地改良用語辞典

#### 頭首工

川から用水路に農業用水を取り入れるための施設

#### 蛇籠

内部に自然石などを入れ、河川工事に使つ円筒形のかご

形がへびに似ているんだよ



#### 分水工

流送された水を所定の地域に所定の流量、水位で調整・分配する構造物

# 第4回「とやまの農山村写真展」受賞作品



「とやまの農山村写真展」は、富山県の豊かな農村風景を後世に守り伝えるための啓発活動の一環として開催しています。作品をご覧いただいた方々が、富山県の魅力を再発見する良いきっかけになるものと思っています。応募総数132作品(一般100点・ジュニア32点)から、最優秀賞作品を紹介します。

県知事賞  
(最優秀賞)

一般部門

稲刈 楽しく学ぶ  
菅波 繁(富山市)



県知事賞  
(最優秀賞)

ジュニア部門

田んぼのかいだん  
河合 結衣(砺波市立砺波東部小学校1年)



県知事賞  
(優秀賞)

一般部門

芽吹きの里  
山田 正昭(富山市)



一般部門

棚田の学校  
杉山 邦雄(高岡市)



ジュニア部門

みんなで力を合わせて  
向柴 天斗(氷見中央幼稚園年中)



※受賞作品は、「とやま棚田ネットワーク」のホームページでもご覧いただけます。 [とやま棚田ネットワーク](#) [検索](#)

## 平成26年度「水の事故・ゴミ捨て防止」 —農業用水って何だろう?— 標語及びポスター 受賞作品

農業用水やため池における水難事故やゴミ投棄の防止をよびかけるため、標語及びポスターを募集しました。標語760点、ポスター562点の応募作品から、標語部門県知事賞作品、ポスター部門県知事賞(最優秀賞)作品を紹介します。

◆ポスター

県知事賞  
(最優秀賞)

堀越 あゆ  
(砺波市立出町中学校3年)



◆標語

県知事賞

澄みわたる 流れのめぐみ いつまでも  
若林 健嗣(一般)

きれいな水 安心安全の第一歩  
松井 知咲(上市町立上市中学校3年)

水の事故 一つの注意が 命綱  
笹木 悠聖(富山市立速星小学校6年)

すてないで 未来のきみが こまるはず  
近藤 柊真(射水市立歌の森小学校5年)

つなげよう きれいな水と すてない心  
森 菜々美(上市町立上市中央小学校3年)

※受賞作品は、県農村振興課のホームページでご覧いただけます。 [富山県農村振興課](#) [検索](#)

耕作放棄地面積の少なさ  
全国第2位

耕作放棄地面積率の低さ  
全国第3位

ご存知ですか?

## 富山県の耕作放棄地対策

富山県では平成21年以降、農地として利用すべき土地や景観上重要な地区を中心に耕作放棄地の再生・解消に取り組んでおり、当初551haあった耕作放棄地が平成25年に306haまで減少しています。

これからも市町村や地域協議会、農業委員等の関係機関と連携して農地利用者の確保に努め、耕作放棄地の草刈りや土壌改良、作物栽培などによる再生・解消をさらに進めていく必要があります。



### 耕作放棄地対策支援事業

事業名・型	実施要件	支援内容	事業主体	対象農地	補助額
みどりの農地再生利用事業	本事業による再生作業後、当該農地において、5年以上耕作すること	①再生作業 耕作放棄地の草刈り、土壌改良など ②施設等補完整備 用排水施設の簡易な復旧 ③重機等を利用した再生作業 重機を利用した再生作業	農地所有者以外の農業者又は農業者団体	農用地区域の農地	①10a当たりの補助単価(千円)国50、県25、市町村25 ②施設等補完整備に要する経費の15/100以内 ③重機等を利用した経費の国1/2以内、県1/4以内、市町村1/4
美しい農村景観整備事業	一般型 ・復元整備事業及び活用推進事業が行われること 景観改善型 ・補助事業終了後、3年以上の保全管理が見込まれること	○復元整備事業 耕作放棄地の草刈り、深耕、障害物除去等の作業に要する費用 ○活用推進事業 草刈り及び耕起に要する費用(除草剤代、種苗費、肥料代等)	農地所有者等	集団的なまとまりのある農地	作業に要する費用の1/4以内(県)ただし補助上限額25,000円/10a
				観光地に至る幹線沿いにあり、市町村が景観上重要と判断した農地	作業に要する費用の1/4以内(県)ただし補助上限額10,000円/10a
			地域耕作放棄地対策協議会等	集団的なまとまりのある農地	作業に要する費用の1/4以内(県)ただし補助上限額50,000円/10a
				観光地に至る幹線沿いにあり、市町村が景観上重要と判断した農地	作業に要する費用の1/4以内(県)ただし補助上限額25,000円/10a

### みどりの農地再生利用事業



雑草除去



耕起作業



耕起完了

### 美しい農村景観整備事業(景観改善型)



荒廃状況



雑草除去完了



景観の美化

■ お問い合わせ先

●魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町  
新川農林振興センター 企画振興課 ☎0765-22-9136

●富山市、上市町、立山町、舟橋村  
富山農林振興センター 企画振興課 ☎076-444-4475

●高岡市、氷見市、小矢部市、射水市  
高岡農林振興センター 企画振興課 ☎0766-26-8448

●砺波市、南砺市  
砺波農林振興センター 企画振興課 ☎0763-32-8130



## ・INFORMATION

# 「とやま地産地消顕彰」のご紹介



富山県では、県民の皆さんが積極的に地産地消に取り組む気運の高揚を図ることを目的に地産地消の優良な取組みを表彰しています。

## 平成26年度とやま地産地消優良活動表彰

地域と連携・協力して地産地消活動に取り組み、優秀活動と認められた企業・団体を「優良活動賞」として表彰しています。

### 優良活動賞

米っ粉倶楽部  
(立山町)



米粉シフォンケーキ



米粉のお好み焼き体験を実施

### 優良活動賞

にゅうぜん味菜  
(入善町)



まめなみそ



中学生に郷土の雑煮づくりの指導

## 平成26年度とやま地産地消メニューコンテスト

### 最優秀賞

農事組合法人  
味彩おおやま  
(富山市)



学校給食、社員食堂、外食・弁当等において、生産者との交流促進等の取組みを伴った地場産農林水産物を食材として活用したメニューを募集し、優れたものを表彰しています。



**優秀賞** 滑川市学校給食共同調理場(滑川市) FARMER'S BAKERY(氷見市)

平成27年度は3月下旬から募集予定です。詳しくは「越中とやま食の王国」ホームページ <http://www.shoku-toyama.jp> をご覧ください。

## ・表紙の写真

耕作放棄地0%を目指して荒れた田畑を再生しよう! 入善町農業委員会の呼びかけで始まったのが「耕作放棄地に唐辛子を植えようプロジェクト」です。舟見地区の山沿いにある47aの放棄地再生には、商工会青年部、JAみな穂青壮年部、入善高校農業科が協力。平成23年3月、まだ雪が残る里山での雪かき、重機を使った雑木の除去作業など「若い人たちが本当によく頑張ってくれました」と農業委員会会長の鍋嶋太郎さん。息子の慎一郎さんがJAみな穂青壮年部委員長を務め、商工会青年部にも所属していたこと、また普段から入善高校との交流もあったことから、「農商“校”」が連携したプロジェクトとしても注目を集めました。

でも、なぜ唐辛子? 実は、ソバ畑を囲むように植えると野生鳥獣害対策になることから、3種類(げきから・鷹の爪・日光)を栽培。高校生たちはJAみな



穂青年部と一緒に植え付けや収穫を行うことで交流を深め、商工会青年部は収穫した唐辛子で「入善レッドラーメン」や「げきから一味唐辛子」を商品化するなど、様々な効果につながりました。異なる団体・組織がこれだけスムーズにまとまった理由を聞くと「面白かったから」と慎一郎さん。「肩書きも所属も年齢も関係なし。みんな長靴履いてね、ワイワイ言いながら作業するのは楽しかったですよ」。

鷹の爪よりも大きい品種「げきから」の乾燥作業は特定非営利法人「工房あおの丘」が担当するなど、「農商校」の連携は福祉の領域にも広がり、耕作放棄地0%を目指す取り組みは地域活性化にも大いに貢献しています。

取材協力「耕作放棄地に唐辛子を植えようプロジェクト」

鍋嶋太郎さん(入善町農業委員会会長)

鍋嶋慎一郎さん(JAみな穂青壮年部委員長・商工会青年部)

□本誌に関するご要望、ご意見等をお寄せください。氏名、年齢、職業のご記入をお忘れなく。個人情報については、内容確認以外に使用いたしません。

□本誌の内容が富山県ホームページでもご覧になれます。 <http://www.pref.toyama.jp/> ふるさと夢とやま 検索

第35号 平成27年3月

この冊子は、富山県農村環境創造基金ならびに富山県棚田地域水と土保全基金で発行されています。

発行



〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

TEL 076-444-3381 FAX 076-444-4427

富山県農村環境創造基金 <http://www.pref.toyama.jp/sections/1605/noukan/index.html>

とやま棚田ネットワーク <http://www.nn-toyama.jp/tanada/tanada.htm>

編集



水土里ネット富山

〒939-8214 富山県富山市黒崎17番地

TEL 076-424-3300(代) FAX 076-424-3332

<http://www.tomidoren.jp>